

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

内部質保証委員会、FD・SD委員会、教務委員会、外部評価委員会

(責任者名) 渡邊 典子 (役職名) 副学長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	内部質保証委員会にて授業科目の履修状況・単位取得状況を分析している。また本プログラムの全学共通科目(ITとデータサイエンス科目)については、新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部DX・IR室がこれを担当し、分析結果は共有されている。 令和6年度においては該当科目を履修した者が本プログラムの履修者数であり、令和6度の履修状況および修了状況は以下になる。 福祉心理子ども学部: 履修者数 21名 修了者数3名(令和6度現在)
学修成果	単位取得状況や、小テストなど結果を分析することにより、授業の難易度に問題が無いかを確認している。「データ活用演習Ⅰ」、「データ活用演習Ⅱ」の履修者全員が単位を取得していることから、十分な学修成果が得られていると考えられる。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	最終授業に行われる授業評価アンケート、定期的に開催される学生FDや教員との面談、単位取得状況や、小テスト、期末テストの結果を分析した。ほぼ全ての学生が単位を取得でき、分析結果からも授業の理解度に問題が無いことを確認している。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	授業評価アンケートから、プログラムの講義が学生のAI・数理データサイエンスへの関心を高めることに貢献していることを確認している。後輩への推奨度は明示的には調査していないが、授業評価アンケートに授業の推奨度を尋ねる質問項目を盛り込むなどの対策を検討している。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本教育プログラムは令和6年度開設であるため、現時点では3学年のみである。今後年次進行に伴い、履修者数は向上する見込みである。また、プログラムにおける科目はほぼ1年～2年次に取得する必修カリキュラムとなっているため、卒業までに無理なく修得できる。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	本プログラムは令和6年度開設であり、まだ卒業者はいない。本教育プログラムを修了した卒業者が出た後は学修成果の自己評価や所属機関からの評価を行うことができると思われる。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	本プログラムを含めた学部での正規的教育課程の編成にあたり、外部評価委員等から意見を聴取している。また、学園理事会、評議員会においても意見を収集する重要な一つの間であり、引き続き議論いただく予定である。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	「数理・データサイエンス・AI リテラシーレベルのモデルカリキュラム」の「導入」領域を充実させることで、学ぶ楽しさや学ぶ意義を理解させる工夫をしている。身近な社会での実例を紹介することや、今後のSociety5.0が実現した社会を予想・議論する活動を通して学生の興味関心を高めている。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること ※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載	内容・水準の維持・向上については、「数理・データサイエンス・AI リテラシーレベルのモデルカリキュラム」に基づきリテラシーレベルの内容の確実な修得を計画するとともに、学生が実際に手を動かしながら実感できる演習を充実させることで、分かりやすい授業となるよう改善を進める。